

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所独自の理念があり、それに基づき、どうしたら一人ひとりがその人らしい生活を送れるかを日常的に話し合いながらサービスの提供を行い、その人らしさ実現に向かい意見交換を重ねている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染防止第一でだが、地域のお祭り見物やホームの買い物同行、期日前投票等外出の支援をしている。近隣を散歩し知人と出会い挨拶を交わし、地元の人々と交流する機会が増えた。広報にホームの様子を載せ、ご家族や地域の方へ事業所の事を知って頂けるようにしている。	地域の方に知ってもらえるよう、現状の広報の配布先(ご家族と美川地域包括支援センター)を今後増やしていければいいのではないかと。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者やサービスの実際、評価への取組状況について報告や話し合いを行っている。ご家族からのご意見が頂けるよう議事録を何時でも閲覧できるようにしている。	2か月に一度、内容の報告時に写真が貼付されており様子から表情が分かる。		
4	市町村との連携	市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	市・地域包括担当者とは運営推進会議でホームの現状を伝え利用者の困難事例については相談・意見交換をしている。運営上の疑問点が生じた場合は市担当課に電話・相談して必要な助言を得ている。	疑問点に関しては助言を頂き、実情を発信してこれまで以上の連携に努めている。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員会議で身体的拘束適正化検討委員会での内容を伝達し、職員への周知に努めている。日中、玄関の鍵をかけていない。利用者一人ひとりの外出のくせや傾向をつかんで対応しており、外に出たい等、帰りたい様子がある時は傾聴し共に行動し対応している。また、身体状態が一時的に悪化し転倒リスクが高い方に関してはセンサー使用することもあるが行動、制限は設けていない。伴うリスクに関してはご家族に伝え理解に導いており、ケアプランに挙げて家族の同意を得ている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今後も、委員会や研修を通して、また参加していない職員には伝達研修を行い、身体拘束に対する正しい理解を深めケアに取り組んでください。

6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	委員会、施設内、外部研修参加後に伝達研修を実施し周知に努めている。また管理者と職員は具体的な不適切ケアについても話し合う機会を設けてケアの見直しを行い、職員の疲労やストレスが利用者へのケアに影響していないかを把握するよう努めている。身体的な暴力はなくても、言葉が暴力となり利用者さんの生活を萎縮させないよう個別の話し合いミーティングにおいても話合っている。自分自身の言動を振り返る機会は今後も必要。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	完璧ということがないので、今後も防止できるように取り組み続けて行ってください。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新規採用時に権利擁護に関する研修を実施。また施設内外の虐待防止研修、月1回の虐待防止検討委員会や身体的拘束適正化検討委員会、ホームミーティング等でも学んでいる。現在、成年後見制度を活用している利用者さんが1名あり。補助人に相談・助言を頂きながら支援している。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居前に重要説明事項を基に説明しご家族に伝わりやすい説明を心掛け、不安、疑問を尋ね理解して頂けるように努めている。契約時にも再度確認しながら説明を行っている。また退居時も事由を踏まえた上で十分な期間を持つように配慮している。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	いつでも利用者が意見・不満、苦情を管理者や職員に言うことができるような雰囲気づくりに努めている。運営推進会議で家族代表の方も含め意見を頂いている。感染症対策で面会に制限あり電話が多くなっているが、その都度、利用者さんの暮らしぶりを伝え、ご家族の要望等聞かせて頂いている。また、1階EV前に「意見箱」を設置、外部に表せる機会として第三者委員や、公的窓口を説明、紹介している。利用者、家族アンケートを実施し意見を反映させるよう努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	意見箱の利用実績はないが、今後も設置を継続し意見を聴けるようにしていきってください。利用者やご家族へのアンケートは継続して実施し、引き続き意見を反映できるようにしていきってください。

10	運営に関する職員 意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員 の意見や提案を聞く機会を設け、反映さ せている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者受け入れ、入居継続の可否、その他、 重要な事項の決定については職員の意見を 聞く機会を設けている。毎月の職員会議時に 職員主体で意見交換し、ホーム行事も職員が 主体となって企画・実行している。年1回の個 人面談、ユニットリーダーを担う職員との面談 の機会があり、職員の要望・提案をホームの 運営・サービスの質の向上に繋げている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や 実績、勤務状況を把握し、給与水準、労 働時間、やりがいなど、各自が向上心を 持って働けるよう職場環境・条件の整備 に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営者は各職員が向上心を持って働き 続ける為に、労働基準法に則った勤務体 制の実施、またキャリアアップできるよう 仕組みを整え、職場環境の充実、処遇改 善に努めている。また年2回の健康診断 の実施、労働安全法に基づき職員のスト レスチェックを行い心身の健康を保つ為 の対応がされている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	退職意向のある職員が複数いたため、 個別面談を行い、ユニット間の職員シャ ッフルを行った。また職員の欠員に関し ては派遣職員1名来ている。随時面接も 行っている。定年後の継続雇用の年齢 については本部とも相談していく。
12	職員を育てる取り 組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケ アの実際と力量を把握し、法人内外の研 修を受ける機会の確保や、働きながらト レーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	リモート研修が多いが 法人内外の研修 機会を与え、各職員が参加している。ま た、日常的に助言・指導も行っている。職 員が資格取得に向けての講習に参加で きるようシフト調整している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設内研修については全職員対象、 施設外研修については勤務年数に合わ せて順に受講できるよう取り組んでい る。
13	同業者との交流を 通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交 流する機会を作り、ネットワークづくりや 勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サ ービスの質を向上させていく取り組みをし ている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	県グループホーム協会の会員、石川県 地域密着ケア会議協議会にも加入して おり、協会主催の研修に参加し、交流、 連携を図っている。また、市内のグルー プホーム事業者連絡会に参加、会議や 書面で情報交換している。			
14	本人と共に過ごし 支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場に おらず、暮らしを共にする者同士の関係 を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の残存能力を生かした活動で協 働を心掛け、利用者からの要望、指導な どが日頃からあり、職員が一方的な立場 に立っていることはない。また利用者同 士の助け合う関係も築いている。			
15	馴染みの人や場と の関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの 人や場所との関係が途切れないよう、支 援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	R5 年度目標達成計画にて目標を「利用 者・家族の思いの傾聴に努め要望を叶 える」と設定。利用者や御家族にアンケ ートを行った。外出や面会について感染症 を気にし過ぎているとの意見もあったが、 感染症対策で仕方ないと理解されている	感染状況を確認しながら、また感染対 策を行いながら、外出や外泊、面会の支 援を行っている。感染はなくなりますが、 状況をみながらなじみの関係が継続でき るよう支援に努めて下さい。		

				方もいた。地域の感染状況に応じて外出等の支援の方法を変えて対応して行く事で要望に近づけるように努めた。感染症対策を行いながら、状況に合わせて制限はあるが外出、外泊や面会の支援は行っている。			
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	裁縫、塗り絵、歌、計算、パズル、ゲーム、スクワット、野菜の下ごしらえ等々希望を聞き、自己決定のもと、得意なこと、好きなことをしながら楽しく過ごして頂いている。職員と一緒に家事等行いながら、思いや希望を聞くと共にやりがい、居場所を提供している。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日頃から利用者の変化や気になる事があれば職員間で情報共有し、ケアについて話合っている。また職員会議で定期的に個々の状態に合わせた課題やケアの在り方について評価と再検討を行い、本人・家族と職員等が話し合った上で利用者さんの立場に立った計画となるよう努めている。	通常3か月で見直し、状態の変化に応じてその都度プラン変更している。ご本人が思いを言える場合はよいが、言えない方もいる。日頃の様子などからくみ取るようにしている。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	今後も利用者と直接話すだけでなく普段の言動などから意向や課題を把握し、家族や職員の意向などを反映させながらプラン作成していく。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者個別の SOAP 方式とし、個々の目標に沿ったケアの実践を行い気づきに繋げてプランに反映、見直しに活かしている。またその日の特変事項やヒヤリハット記録、申し送り等で職員が情報を共有し対応している。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	出勤している職員から次に出勤した職員へと直接申し送っている。また申し送りノートに記入し、他職員も把握できるようにしている。申し送りが抜けてしまい、ヒヤリや事故が発生したこともある。しっかりと申し送りができるようにして行ってください。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	直接面会が困難なご家族においてはリモート面会で対応している。また、ご家族に代わり病院受診の付添いをしている。	サービスの多機能化、その時々生まれるニーズに対応していくことも必要ではないか。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	感染防止を第一に考えているため地域への参加はあまりできていない。本を読むのが好きな方は図書館で本を借りてくることをプランに入れてあるが、感染防	思っているより色々な地域資源があるかもしれません。		

				止対策で実施できていない。今後も地域資源の把握に努めていく。			
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	原則的に入居前のかかりつけ医に受診又は往診してもらっているが、都合により困難な場合は協力体制にある医師に変更し、往診等により適切な医療を受けられるように支援している。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入院時は本人の状況等の情報提供を行うと共に円滑な治療となるよう必要事項は随時連絡を取り合っており、早期退院に繋がるよう努めている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入院時に介護サマリーにて情報提供している。入院先のソーシャルワーカー等と密に連携を図り状態確認を行っている。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居時に重度化した場合や終末期の対応方法(他施設への転居、入院など)を説明し、了解を得ている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ホーム内に看護職の配置はないが、訪問看護リハと契約を結び定期的な看護師の訪問あり。夜間対応も可能となっている。また隣接特養の看護師に症状に対する対応等を相談できる環境も整っており相談、アドバイスを頂き、かかりつけ医に繋げている。また隣接特養の研修に参加し、緊急時の対応ができるよう努めている。個々に起こりうるリスクを把握し職員間で共有するよう努めている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	隣接特養と合同の避難訓練及び設備点検を実施して、災害時における避難方法の把握や場所の確保はされており、火災訓練を年2回、地震・水害訓練を年1回実施している。地域住民、町内の自衛消防団、運営推進委員を交えて実施していたが、現在は参加見合わせている。BCP(事業継続計画)を作成し職員に周知している。防災訓練後、停電になっても速	<p>感染対策で現状は施設職員のみでの訓練となっている。(火災想定では消防署職員来られている)</p> <p>感染対策をしながら今後は以前のように運営推進委員の方や自衛消防団等にも参加協力をいただけるといいのではないかと。</p>	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	これでよいということはないので、今後も継続して訓練を行って、もしもの時に備えて下さい。

				やかに電気供給ができるように自家発電機を 実際に使用する練習も行っている。			
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重 とプライバシーの 確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライ バシーを損ねない言葉かけや対応をして いる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄や入浴等介助時にはプライバシー に配慮して対応している。排泄介助が必 要な方には周囲の方にわからないよう声 かけ等行うようにしている。本人が思っ ている「現実」を否定せずを受容した上で 不安を取り除けるように努めている。月1 回、認知症ケア会議を開催し対応を再認 識している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの思いを受け止めて対応し ていると思いますが、これで十分とい うことはないと思います。今後も人生の先 輩として尊重していく。
27	日々のその人らし い暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのでは なく、一人ひとりの日常生活における希 望や意向、暮らしのペースを大切に、そ の日をどのように過ごしたいか、希望に そって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の得意なことや好きなことを把握し 持てる力を生かし、希望を聞きながらそ の方のペースで楽しく過ごせるようにしな がら朝昼夜が感じられるように支援して いる。業務中心とならないよう意識して いる。			
28	食事を楽しむこと のできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひと りの好みや力を活かしながら、利用者 と職員と一緒に準備や食事、片付けをして いる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の能力を活かし、食材切り、盛付、 配膳等の準備や食後の片付けを職員と 一緒にしている。催事日や誕生日会では、 利用者の好きな物をメニューに反映させ たり、テイクアウトも利用している。祭りの 日には利用者と笹寿司を作り、思い出等 を語りながら楽しい食事会ができた。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人の力を生かして職員がうまく サポートしているのではないかと。今後も 継続して行ってほしい。
29	栄養摂取や水分確 保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日 を通じて確保できるよう、一人ひとりの状 態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	隣接特養の栄養士により、個々の栄養バラ ンスを考慮している。また利用者一人ひとりの食 事と水分摂取量、排泄状況を観察記録してい る。水分確保できていない方においては水分 の代わりにゼリーを提供する等、工夫してい る。家族から差し入れの飲料をフロアの冷蔵 庫に保管し、飲みたいときに飲めるようにした り、居室にお茶を用意する等、個々の希望に 合わせて支援している。			

30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	口腔ケアの大切さの説明をしながら、自立・声かけ・一部介助と個々に適した支援を行い清潔保持に努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	口腔ケアの実施は朝・昼・夕食後にその方に応じた声かけを行い実施し清潔保持に努めている。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の排泄チェック表を活用し平素の排泄パターンや、食事・水分量を把握し、便秘の予防に取り組んでいる。排泄量や時間帯によりパットや紙パンツ使用の種類を決めている。また紙パンツに汚染の無い方は布パンツに移行している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄状況を把握しその方にあつたパットや紙パンツ、布パンツを使用し、トイレでの排泄を支援している。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそつた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の気持ちに添った穏やかな入浴をして頂くために午前中、午後等その方に適した入浴をしている。往診日との調整があるが、利用者の意向に沿った支援をしている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者一人ひとりの疲労程度に留意し本人が落ち着ける居室・フロアでの休息を選んで頂いている。個々の睡眠パターンの把握に努め、不眠傾向のある方へは話をよく聴き、日中の活動を通して生活リズムが整うような支援に努めている。室温調整に配慮している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬は情報をしっかり把握して医師の指示通りに服薬できるよう確認体制をとっている。服薬開始からの症状の変化に注意し、わからないことは医師・薬剤師に聞いている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬の誤薬(中止薬と変更後の薬を重複して飲ませてしまった)事故があつた。医師の指示に沿って服薬できるようもっと注意していく必要がある。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	水分補給時の飲物、裁縫、季節の作品作り、塗り絵、書写、ビデオ観賞、カラオケ、散歩等、個々の好まれる物を提供している。	自ら楽しみ事を見つけている方もいれば声かけが必要な方もいる。今後も何を望まれているか確認しながら、支援して欲しい。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそつて、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染予防を第一に考えているが近隣の散歩に行っている。地域の方からお花を頂きフロアに飾ったり、散歩コースにお墓のある方はお参りもされている。ホームの買い物へも出掛けている。季節を感じるドライブは少人数で出かけている。家	感染予防を第一に考えての活動となっており、積極的に外へ行くようなことはできていないようだが、感染が無くなる事はないので、少しずつできることをしていけばいいのではないかと。		

				族との受診はマスク着用、手指消毒を行い支援している。			
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	金銭管理については入居者の能力、家族の希望に応じて小遣い程度の金銭を持つことを支援している。また所持していない方に関しても買い物に行き支払う機会があれば対応している。祭りの露店では、家族からの小遣いを自分の手から支払って好きな物を買う支援ができた。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者さんからの希望に応じ、電話をかける介助や繋ぐ介助を行い、会話中は席を外すように配慮している。手紙などは手渡しし要望によっては代読している。年賀状や親せき・知人におくる為、郵便物投函の支援や携帯電話の取り扱い困難時の対応もしている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	共用の場所はお互いが居心地良く過ごせるようにソファ等置き、家庭的な雰囲気にし、利用者の交流の場になるようにしている。適時席替えなどして問題や混乱を回避している。月ごとに季節感のある作品を制作し掲示している。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	実際に施設内を見学した。利用者さんに案内してもらって居心地が良い事がわかった。	
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	居室で過ごしたい時、誰かと話したい時、何もしたくない時など日常の中でご本人の意思で自由に過ごすことができている。また利用者に「何でもアンケート」を行い、行きたい場所、食べたい物、やりたいこと、会いたい人等伺った。伺った事を全てできているわけではないが、伺ったことを少しでも行えるように努めていく必要がある。			

41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自分の好きなように過ごしているという方もいれば、友人にもっと会えるといいと話している方もいる。入居時には本人・家族から生活歴、習慣などの情報を確認している。それを基に入居後も自宅にいる時から使用していた物を使って文字を書いたり、家事や体を動かすことが好きな方はそれが続けられるよう支援行っており、ほぼできていると思われるが、利用者によっては不十分なことも考えられる。アンケートで伺った事を少しずつ実行できるよう努めて行く必要がある。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的な往診時、居室で対応しご本人が直接医師に思いをお話しされることが多くみられる。 職員は健康観察を朝と午後に行い異常時は主治医に繋げている。また定期的な往診や受診、週1の訪問看護時にも日頃の様子(日頃ご本人が話していることなども)を医師や看護師、ご家族に伝え、医療面、健康面での支援を受けることができるようにしている。身体状況に合わせて杖・シルバーカー・歩行器を使い安全に過ごせるように支援している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日頃のバイタル測定や日々の状況を把握し、訪問診療や訪問看護につなげ、医療面や健康面での体制が整備されていると思う。転倒リスクも把握し日々のケアでも注意している。
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の体調や要望に応じて居室で読書や編物、TVを見たり、フロアで体操やレク活動をしたり自分のペースで過ごしている。また、家事等を行うことで習慣が持続できるように支援している。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に家族と話し合い安全面に配慮し持って来て頂いている。家族の写真や整理タンス、テーブル・椅子、テレビ、寝具、ソファ、時計等、なじみのものが沢山あり、大切にしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に、馴染みの物、大切にしている物を持って来て良いと伝え、持って来ている方もいる。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ感染予防を第一に考えているが、帰所後に待機期間を設ける等をして外泊や催事、遠方の墓参りの支援をしている。地域の祭りを見物や、自宅にある物を取りに行きたいと	外泊や外出等の支援は感染予防もしながらではあるが行っている。ご家族の協力も必要。		

				の希望ある方は家族にその旨伝え、了承のもと職員付添いしている。また、自宅の草むしりをしたいとの希望があった時には、家族と出かけて草むしりを行ない、家族と職員とが協力して支援している。			
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の残存能力を維持向上できる作業を探し提供している。手先を動かし、ぬり絵や工作の完成で喜びを感じている。また居室で過ごす事が多かった方がフロアで調理手伝いするのが日課となり、利用者同士で声を掛け合ってコミュニケーションをとりながら楽しく行っている			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	得意なこと、好きなことをやり遂げた達成感を感じて頂けるよう支援している。掃除や家事手伝いを進んでされている時、会話や歌をうたい賑やかに過ごされている時は穏やかで明るい表情がある。ホームの行事も生き生き参加している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者同士でコミュニケーションが取れるように職員が会話の仲介を行う等している。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ほとんどできていない D. ほとんどできていない	コロナ過の為、感染リスクを減らすため、面会は家族に限られているが、帰所後の待機期間を設けて外出や外泊を支援している。ホーム職員とお祭りや期日前投票に行き地域との交流の場をもつことができた。その時で出来ることをしている。	感染予防を考えながらではあると思う ができる事を少しずつして行けばいいのではないか。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染予防の為、地域の方々との交流に制限があるが、お祭りに出掛けたりと少しずつ地域との関わりが増えてきている。職員と一緒に生活していることに安心感があり生活リズムが整った穏やかな日々を送ることができている。「ここにおれば安心や。ここにおればこそや」と話されている。利用者に対し「何でもアンケート」を行った。行きたい場所、食べたい物、やりたいこと、会いたい人等伺った。できたこともあったが全てできたわけではない。伺ったことを少しでも行えるように努めていく必要がある。	地域との関わりもしたいが、感染対策も行うとなると難しいと思う。アンケートで意向を把握しながら、少しずつできることを考えて行けばいいのではないか。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	直接の交流も検討して行けばよいが、感染対策もとなると難しいことも多い。今までとは違う方法等も考えながら地域と交流できるよう考えていく。グループホームでの様子を地域の方に伝えていきながら災害時等何かあれば協力して頂けるような関係が作れるといいのではないか。 来年度は避難訓練等も一緒にできるよう検討していきたい。

